

益田清風高を研究校

県産業教育振興会
商業教育部会 岐阜市で総会

県産業教育振興会商業教育部会(瀬川隆彦部会長)の総会が、岐阜市司町の岐阜会館であり、役員改選や本年度の事業計画案など7議案を承認した。同部会には、商業に関する学科やコース、



役員改選などをした県産業教育振興会商業教育部会の総会＝岐阜市司町、岐阜会館

は約70人が出席した。瀬川部会長が「岐阜の商業教育の水準は高い。世界で活躍できる生徒を育成してほしい」とあいさつ。事業計画案を承認し、益田清風高校(下呂市)を

進路指導の研究校とすることや、11月に宮城県で開かれる全国産業教育フェアの視察などを決めた。役員の改選も行い、瀬川部会長を再任。副部会長に会員企業から秋田屋本店(岐阜市)の中村正社長とデリカスイト(大垣市)の堀富士夫ファウンダー(大垣商業高校同窓会長)の2人を加えた。健康食品・医薬品製造のアピ(岐阜市)の野々垣孝彦社長が人材育成に関した講演を行い、武義高校(美濃市)が進路指導の研究成果を発表した。

(生駒美江)